

二本松市教育委員会会議録

令和4年12月22日午後3時00分二本松市教育委員会定例会議を二本松市役所教育委員会室に招集した。

○会議に出席した委員は次のとおりである。(発言内容を簡略化)

教 育 長	丹 野 学
教育長職務代理者	佐 藤 英 之
教 育 委 員	関 奈央子
教 育 委 員	関 健 至
教 育 委 員	太 田 左恵子

○会議に説明のため出席した職員は次のとおりである。

教 育 部 長	内 藤 徳 夫
教育総務課長	大 内 真 利
学校教育課長	太 田 孝 志
生涯学習課長	関 博
文化課長	鈴 木 啓 樹

○教育長（丹野） ただいまから令和4年二本松市教育委員会12月定例会を開会いたします。

(宣言 午後3時00分)

○教育長（丹野） これより会議に入ります。

委員の出席状況を報告します。現在の出席者は、5名であります。会議の定足数に達しておりますので、本会議は成立いたしました。

次に「2 会議日程の決定」ですが、会議が終了するまでといたします。

続きまして「3 会議録署名人の決定」ですが、佐藤英之教育長職務代理者と関健至委員の2名を指名いたします。

それでは、「4 前回会議録朗読承認」を事務局よりお願いします。

(事務局より、令和4年11月24日の会議録を朗読)

○教育長（丹野） ただいま事務局より会議録の朗読がありましたが、これについて皆様からご質問等がありますでしょうか。

(質問等なし)

○教育長（丹野） それでは、ただいまの会議録については、承認することによるしいですか。

(異議なし)

○教育長（丹野） ただいまの会議録については、承認されました。

これより「5 教育長報告」に移ります。本日9件を予定しております。

○**教育長（丹野）** それでは、「1 市議会 1 2 月定例会について」事務局より説明をお願いします。

（事務局より、議会日程、任期満了となる教育委員の任命（再任）同意について」説明）

○**教育長（丹野）** 説明がありましたとおり、関奈央子委員の3期目就任について市議会から同意をいただきました。本来であれば3期目は令和5年1月27日からとなりますが、この場で関奈央子委員よりご挨拶をいただきたいと思います。皆様よろしいでしょうか。

（「はい」の声）

○**教育長（丹野）** ありがとうございます。議事の途中ではありますが、関奈央子委員より3期目就任に当たってのご挨拶をいただきたいと思います。

（関奈央子委員の挨拶）

○**教育長（丹野）** ありがとうございます。それでは議事を再開します。引き続き、「1 市議会 1 2 月定例会について」事務局より説明をお願いします。

（事務局より、議会での質問・要望等について説明）

○**教育長（丹野）** ただいま事務局より説明がありましたが、佐藤英之教育長職務代理者、いかがでしょうか。

○**佐藤英之教育長職務代理者** 適切な内容であると思います。

○**教育長（丹野）** ありがとうございます。太田委員、いかがでしょうか。

○**太田委員** 「GIGAスクール」や「ICT」、「デジタル教科書」という言葉が最近増えておりますが、子どもたちにとってのメリットは、どんなことでしょうか。

○**学校教育課長** タブレットの中に様々なソフトがインストールされており、その子に個別に対応できるものもあります。また、デジタル教科書も入っており、教師用デジタル教科書を基に色々な資料や写真等を追加することもできますので、子どもたちは、より鮮明な資料を見る機会や集中できる時間も作れることがメリットとしてあると思います。

ただ一方で、やはりそれに頼ってしまい子どもたち同士でのコミュニケーション等がなかなか取れない場面も想定されますので、やはり活用については、本当にその活用で子どもたちに力が付くのかどうか、またそれを使用せずに子ども同士の話し合いをする、実際に書く活動を取り入れる等の使い分け、授業の目的に沿った使用とするように各学校へ指導を行っているところです。

○**太田委員** 個人的に全部デジタルよりは、紙の教科書や手書きの方が子どもたちの頭に入るのではないのかなとの思いもあります。

○**教育長（丹野）** デジタル教科書は、児童生徒用と教師用は別なものであり、教師用デジタル教科書は以前から使用していますが、教師が教材研究を行わず

にデジタル教科書をただ流すだけの授業になってしまっただけでは、ダメだと思っています。やはり、授業はお互いに学んでいることを出し合っていて、高め合っていて納得するプロセスがあって深い学びが出てくるのだと思います。

個人的には紙媒体の方が良いのではないかと太田委員のお考えも良く分かります。ただ、子どもたちが使うデジタル教科書と考えると個人差もありますし、国もデジタル化、ペーパーレス化を奨励しておりますので、おそらく今後はデジタルの方が頭に入るという子どもたちも出てくると思われると思います。

関健至委員、いかがでしょうか。

○**関健至委員** 難しい漢字等もスマホで調べられますが、スマホならいつでも調べられるためにかえって頭に入らないこともあると個人的には思います。うちの子どもたちも学校から辞書はもらっていますが、調べ物もタブレットで検索する頻度の方が圧倒的に多いですので、良し悪しはあると思います。

○**教育長（丹野）** 関奈央子委員、いかがでしょうか。

○**関奈央子委** 学習や覚えるという点では、私も紙媒体の方が良いと思います。ですが、視察させていただいた北秋田市の小学校では、子どもたちがそれぞれタブレットに書いたものを一斉に画面に映して皆で見比べるとか、社会の授業のときに私たちが視察に伺ったことで、二本松市までの経路等を画面に映して説明して下さった先生もおりましたので、先生にとっても便利な活用方法があるのだと思いました。

○**教育長（丹野）** 佐藤英之教育長職務代理者、いかがでしょうか。

○**佐藤英之教育長職務代理者** 例えば、算数の授業のときに立方体の切り口、断面を考えたときに昔だと実際に大根を切って見せる等をしたことがありました。実際に画面でそれらが確認できるという点は良いかなと思いました。その辺りの組み合わせと先程関奈央子委員も仰っていましたが、子どもたちが話し合っているんなら友達の見解を確認するために、それぞれが考えたことをパッと画面で纏められるということには使えると思います。

実際には自分の意見を述べ、自分の考えをしっかりと持つためのツールであり、それに頼って何かするものではないと思います。しかし、上手に使えばかなりの効果があるとも思います。

○**教育長（丹野）** 子どもたち自身が立体の断面がどうなっているのかと興味を持ち、調べたいのに実際は難しいという場合は、確かに有効だと思います。やはり使い様なのだと思います。どのように使えば、子どもたちが自分から進んで学べるのかと考えますとやはり教師に力量がなければならぬのだと思います。安易に使ってしまうことにならないかと危惧されるところです。

○**佐藤英之教育長職務代理者** やはり教師側の姿勢なのだと思います。子どもの考えをどの様に引き上げていくのか、どの様に疑問点を持たせるのかというこ

となのだと思います。

○**教育長（丹野）** 北秋田市での視察を踏まえて考えますと教えようとしている子どもが学びたいことに変換して、子どもたちが自分で学んでいけるという授業をどう作っていくのかが重要なのだと思います。子どもたちにとって面白い、興味が持てる授業をどの様に作っていくかを徹底していくことができれば、デジタル教科書も本当に意味のある使い方ができる可能性はあると思います。

○**太田委員** 二本松市の子どもたちにとって、何が一番学びに良いのかをしっかりと考えて進めていただきたいと思います。

○**教育長（丹野）** ありがとうございます。続いて、「2 新型コロナウイルスの感染状況について」事務局より説明をお願いします。

（事務局より説明）

○**教育長（丹野）** 説明は以上ですが、実際問題として私たちは、県北保健所管内での感染状況は高いと考えております。高校入試も控えておりますので、引き続き緊張感をもって取り組んでいきたいと思っております。よろしいでしょうか。

（「はい」の声）

○**教育長（丹野）** 続いて、「3 令和4年度二本松市障がい児就学指導委員会審議結果について」事務局より説明をお願いします。

（事務局より説明）

○**教育長（丹野）** よろしいでしょうか。

（「はい」の声）

○**教育長（丹野）** 続いて、「4 二本松市任期付短時間勤務指導主事（教員）の採用方針について」事務局より説明をお願いします。

（事務局より説明）

○**教育長（丹野）** よろしいでしょうか。

（「はい」の声）

○**教育長（丹野）** 続いて、「5 不登校児童生徒の現状について」事務局より説明をお願いします。

（事務局より説明）

○**教育長（丹野）** 以上、報告が終わりましたが、ご意見等ございますか。

資料をご覧になってお気づきだと思いますが、令和4年度は11月末現在の数値ですので厳しく深刻な状況にあります。佐藤英之教育長職務代理者、いかがでしょうか。

○**佐藤英之教育長職務代理者** 不登校になるお子さんそれぞれに本人や家族等と背景は異なります。組織的な取り組みを各学校で行っているとのことですので、多くの人目と関わりが一番大切だと思います。それからお子さんと接するときには定期的なものばかりではなく、定期的なものだとお子さんも見透かしま

すので、やはり真剣にちょこちょこで良いので、マメに連絡を取る、そういうことが大事かと思えます。よろしくお願ひしたいと思えます。

○教育長（丹野） 関奈央子委員、いかがでしょうか。

○関奈央子委員 1つ質問なのですが、教育支援センターに通われているお子さんは、全員中学生ですか。

○学校教育課長 小学生と中学生、両方おります。

○関奈央子委員 外に出られる子どもたちであれば良いのですが、ずっと家の中にいて出てこられない子どももいるのではないかと思います。それらの子どもたちをどの様に支援していくのか、それぞれの事情に合った支援が行えたら良いなと本当に思えます。

○教育長（丹野） 関健至委員、いかがでしょうか。

○関健至委員 以前中学校の卒業式に出席した際に卒業式にさえ来ていない子どもたちも結構いることに驚きました。北秋田市での視察で思いましたのは、やはり一人一人ちゃんと見てもらい、認められていると思えば学校に行けるのではないか、大勢の中の一人だと「自分は居なくても良い」というような感じになってしまうのかなと思えます。うちの子どもの同級生ですが、修学旅行には参加したとの話を聞きました。その後継続できるかは難しいのかも知れませんが、クラス等でちゃんと見てもらえるということが一番大切なのではないかと思えます。

○教育長（丹野） 太田委員、いかがでしょうか。

○太田委員 教育支援センターに通っている以外のお子さんは、自宅で過ごしているということなので、なんとか救ってあげたいですね。それぞれ家庭環境も違いますし、状況も皆同じではないと思えますが、どの様に持っていったら救ってあげられるのか。本当に大切にしたい問題だと思います。

○教育長（丹野） ありがとうございます。学校教育課長へお願いですが、今教育委員から大事なお話をいただきました。いわゆる定期的な教育相談や関わりばかりではなく、多面で柔軟に子どもたちに対応していくということが大事であるとのお話でした。また、いわゆる引きこもりがちの子どもたちに対して、どういう風な働きかけをしていくのか、「今までこうしていた」ではなく、それは何も変わっていませんので、それをどうしていったら今までよりも改善して、子どもたちが表に出て来られるようになるのか。それから、「一人一人がきちんと見てもらえる学校になれば、自分が大切にされていると感じてくる」ということは、改めて来年早々に特に今のような内容を盛り込んで学校教育課から教育長名の文書を各学校へ出すことにしたいと思えますので、一緒に内容を考えましょう。やはり分かっているのに手を打たない訳にはいきませんので、これらを考慮しながら進めてください。そして、次回の教育委員会では、それらの

文書も参考までに委員の皆さんへお示しし、ご意見をいただいてまた改善していく。通知は1回では済みませんし、この1月と2月がとても重要になってきますので、よろしく願います。皆さんもよろしいでしょうか。

(「はい」の声)

○**教育長(丹野)** よろしく願います。続いて、「6 令和5年二十歳のつどいについて」事務局より説明をお願いします。

(事務局より説明)

○**教育長(丹野)** 皆さんに役割分担をお願いすることとなりますので、ご了承いただきたいと思ひます。よろしいでしょうか。

(「はい」の声)

○**教育長(丹野)** 続いて、「7 二本松歴史館企画展の開催について」事務局より説明をお願いします。

(事務局より説明)

○**教育長(丹野)** 期間中に福島県知事もお出でになる予定もありますので、皆さんもぜひ視察にお出でいただきたいと思ひます。よろしく願ひいたします。

続いて、「8 第8回史跡二本松城跡保存活用計画策定委員会の開催について」事務局より説明をお願いします。

(事務局より説明)

○**教育長(丹野)** 教育部長と文化課長、この保存活用計画の素案について、1月の教育委員会で皆さんに素案を見ていただくことは可能でしょうか。

○**教育部長** 素案を見ていただくことは、可能だと思ひます。

○**文化課長** 1月の教育委員会で委員の皆様へ保存活用計画の素案をお示ししてご説明したいと思ひます。

○**教育長(丹野)** よろしく願ひます。これに合わせて、適正規模の答申(案)も現在作成中ですが、教育部長、これも教育委員には承知しておいていただきたいと思ひますが、いかがでしょうか。

○**教育部長** 「二本松市立小学校及び中学校適正規模等調査検討会」の次回会議が1月16日(月)であります。ここで答申(案)について議論いただく予定ですので、次回1月教育委員会の中では、答申(案)をご説明できるかと思ひます。

○**教育長(丹野)** それでは1月の教育委員会では、保存活用計画の素案と適正規模の答申(案)を皆さんへお示しすることで進めさせていただきたいと思ひます。よろしく願ひます。

続いて、『9 芸術鑑賞事業「世良公則・宇崎竜童コンサート」の開催延期について』記載のとおりであります。補足はありますでしょうか。

(事務局より説明)

○教育長（丹野） 皆さんの視察もぜひよろしくお願いいたします。「10 その他」は、ございませんので、以上で「教育長報告」を終わります。

続いて、「6 提出議案」に移ります。「(1) 報告第18号 専決処分の報告について（教育委員会に属する職員の懲戒処分について）」事務局より説明をお願いします。

（事務局より説明）

○教育長（丹野） 説明のとおりであります。それでは、「(1) 報告第18号 専決処分の報告について（教育委員会に属する職員の懲戒処分について）」原案のとおり承認することで、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声）

○教育長（丹野） 「(1) 報告第18号 専決処分の報告について（教育委員会に属する職員の懲戒処分について）」は、原案のとおり承認されました。

続いて、「(2) 報告第19号 専決処分の報告について（教育委員会関係規則の制定について）」事務局より説明をお願いします。

（事務局より説明）

○教育長（丹野） 教育部長、要するにこれは、二本松市において規則を作るのですが、全国の他自治体も同じ取り扱いということで理解してよろしいでしょうか。

○教育長（丹野） そのとおりです。英語指導を行う外国青年の派遣をお願いしている団体、全国の自治体は、同じ取り扱いとさせていただくことになっております。

○教育長（丹野） 皆さん、ご理解いただけましたでしょうか。

（「はい」の声）

○教育長（丹野） それでは、「(2) 報告第19号 専決処分の報告について（教育委員会関係規則の制定について）」原案のとおり承認することで、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声）

○教育長（丹野） ありがとうございます。「(2) 報告第19号 専決処分の報告について（教育委員会関係規則の制定について）」は、原案のとおり承認されました。提出議案2件については、以上であります。

続いて、「7 協議事項」に移ります。「(1) 次期教育委員会の開催日程について」事務局より説明をお願いします。

（事務局より説明）

○教育長（丹野） 1月26日午後1時15分ということですが、教育総務課長、この日程は事前に皆さんに確認を取っているということですか、それともこの場で確認ということになりますか。

○教育総務課長 先のご案内は、午後3時からでありました。午後1時15分からの部分は、この場で皆様にご確認いただければと思います。

○教育長（丹野） この後にご協議いただきます総合教育会議開催のための時間変更であります。皆さん、いかがでしょうか。

（「大丈夫です」の声）

○教育長（丹野） それでは、「（1）次期教育委員会の開催日程について」は、1月26日（木）午後1時15分からお願いいたします。続いて、「令和5年教育委員会開催日程について」事務局より説明をお願いします。

（事務局より説明）

○教育長（丹野） この予定で進めて参りたいと思いますが、もしも日程的に厳しい事情等がございましたら、教育総務課長までご相談いただきますようお願いいたします。日程調整をさせていただき、できる限り全員参加で会議を持ちたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

続いて、「2 総合教育会議の開催日程について」事務局より説明をお願いします。

（事務局より説明）

○教育長（丹野） 今回は、「社会教育全般について」を予定しております。1月上旬になりましたら具体的な協議内容の資料を送付させていただきます。

当日は、現状をご説明申し上げたうえで、市長と皆さんと夢も含めてお考えをお聞かせいただきたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

続いて、「3 今後の日程について」に移ります。「（1）令和5年二十歳のつどい」について、事務局より説明をお願いします。

（事務局より説明）

○教育長（丹野） よろしくをお願いいたします。なお、教育部長と生涯学習課長にお願いですが、感染症については、万が一のことを想定した対策をお願いいたします。

続いて、「（2）第2回二本松市教育委員会・小中学校長会定例会」について、事務局より説明をお願いします。

（事務局より説明）

○教育長（丹野） よろしくをお願いいたします。最後に「（3）二本松市内小・中学校管理職教育懇談会」について、これは私の方からご説明いたします。

（教育長より説明）

○教育長（丹野） 例年ですと、市内小・中学校長会主催で管理職懇談会というものを教育委員の方々を対象に行うものなのですが、こういうご時世のため、開催の可否についても相談がありました。学校教育課長とも相談しましたが、コロナだからやらなくても良いものと、絶対にやらなければならないものがあ

ります。全ての校長先生方を集めてということではなく、市内小学校、中学校長会の会長、それから安達郡の小学校、中学校長会の会長が二本松市から出ておりますので、この4名の方を招いて、教育委員会開催に合わせて1時間でも良いですので、今の市内の小・中学校の状況をお伺いして皆さんからご質問いただくことは、やっておいた方が良いのではないかと考えました。私たちの仕事は、やはり現場が分かっていませんとお話ししても仕方がないと思っています。ですが、今は学校現場に行くこともなかなか難しい状況でありますので、私の提案としましては、2月20日午後3時からの教育委員会を1時間前倒しして午後2時からとして、最初の1時間を代表校長との懇談会、基本的には彼らから情報提供をしてもらう。我々にとっても皆さんにとっても意義のあることであると思いますが、いかがでしょうか。

(賛同の声)

○**教育長(丹野)** それでは教育部長、教育総務課長、学校教育課長とで、今の内容で調整をお願いいたします。

最後に「(4)教育委員会新年会の自粛について」事務局より説明をお願いします。

(事務局より説明)

○**教育長(丹野)** このご時世ですので、やむを得ないと思います。ご理解をお願いいたします。以上で本定例会の日程は、全部終了いたしました。

これもちまして、令和4年二本松市教育委員会12月定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

(宣言 午後4時34分)